

経営管理研究部

I	研究水準	研究 17-2
II	質の向上度	研究 17-2

I 研究水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 研究活動の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「研究活動の実施状況」のうち、研究の実施状況については、文理融合型の学際的なマネジメント研究を推進しつつあり、レフリー付き学術誌への研究論文投稿数は、平成18年度58件、19年度46件である。各種学会賞などの受賞件数は平成18年度3件、19年度4件である。研究資金の獲得状況については、件数ベースで、平成19年度は、科学研究費補助金11件、産学連携等の研究費は9件、その他の補助金1件であることなどの相応な成果がある。

以上の点について、経営管理研究部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究活動の状況は、経営管理研究部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 研究成果の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「研究成果の状況」について、学術誌への論文発表数、受賞数は多い。学術面においては、土砂流出における計測や、世帯の復旧資金の調達に関する研究で優れた成果を上げている。また、経済、社会、文化面においては、ブログに関する研究や、コンクリート構造物の維持管理に関する研究の成果を上げているほか、株式投資に関するテキスト作成も成果を上げており、文理融合型の研究及び実務への応用に貢献するなどの相応な成果がある。

以上の点について、経営管理研究部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究成果の状況は、経営管理研究部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

なお、提出された研究業績説明書のうち、優れた業績と判断できるものが少なかったことから、今後の自己評価能力の向上が期待される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

相応に改善、向上している

当該組織から示された事例は4件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」または「相応に改善、向上している」と判断された。